

平成 20 年 8 月 5 日

大王製紙株式会社

いわき大王製紙 バイオマスボイラー運転開始について

当社の関係会社であるいわき大王製紙株式会社は、平成 20 年 8 月に建築廃材を主な燃料とする 2 基目のバイオマスボイラーの試運転を行い、10 月より本格稼動を開始する予定です。

現在は、業界に先駆けて平成 13 年に設置したバイオマスボイラーの他 重油ボイラーによる自家発電を行っていますが、新バイオマスボイラー稼動後は重油ボイラーを停止することで重油使用量をゼロとします。

平成 18 年度の化石燃料由来の二酸化炭素排出量は、製紙業界平均で平成 2 年度対比 8.4%削減していますが、いわき大王製紙(株)は、新バイオマスボイラー稼動後二酸化炭素排出量を 240 千ト/年から 35 千ト/年と 85%の大幅な削減を行います。

新設するバイオマスボイラーでは、建築廃材、^{せんてい}剪定木などの木質燃料及び R P F (古紙と廃プラスチックを原料とした固形燃料)、廃タイヤチップ等を使用することで、化石燃料を使用しない計画です。

1. いわき大王製紙(株)概要

・所在地	福島県いわき市南台 4 丁目 3 番 6 号
・資本金	25 億円
・年 商	241 億円 (平成 20 年 3 月期)
・従業員	207 名 (平成 20 年 3 月末)
・生産能力	段ボール原紙 28,000 ト/月 新聞用紙 9,500 ト/月 合 計 37,500 ト/月

2. 新設バイオマスボイラー仕様

・投資額	80 億円
・蒸発量	170t/h
・蒸気条件	13.2MPa×540℃
・発電設備	既設流用 (定格 32,000kw)
・使用燃料	・木質燃料 (建築廃材、剪定木など) ・ R P F (古紙と廃プラスチックを原料とした固形燃料) ・廃タイヤチップ ・構内廃棄物 (ペーパーラッジ、パルパー粕など)